

平成30年度 第2回 長浜市子ども・子育て会議 要点録

日時 平成30年10月22日（月）午後2時00分～午後3時30分
場所 長浜市役所3階 3-Bコミュニティルーム
出席者 【委員】西川委員、大橋委員、井関委員、富岡委員、曾我委員、古池委員、
野田委員、長委員、前田委員、吉井委員、熊谷委員（11人）
【委託会社】株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所：菅原、竹内
【事務局】健康福祉部次長：長谷川、幼児課：大音、野村、小川
子育て支援課：村崎、益田、前畷、涌井
欠席者 井委員、柴田委員、山路委員、池田委員（4人）
傍聴者 なし

《開会》

事務局

それでは定刻になりましたので、ただ今から「平成30年度第2回長浜市子ども・子育て会議」を開催します。

本日の傍聴者はおられませんが、「附属機関等の会議の公開等に関する要綱」に基づき、本会議は公開となっていますのでご了承願います。

まず初めに、健康福祉部次長よりあいさつ申しあげます。

《次長あいさつ》

続きまして、第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画の策定についてお手伝いいただきます「株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所」の方を紹介いたします。

《自己紹介》

事務局

本日、4人の委員からご欠席の連絡をいただいておりますが本会議は「長浜市子ども・子育て会議規則第4条第3項」に規定する過半数の出席がありますので、成立することをここにご報告いたします。

では、次第2の議事に入りたいと思います。

ここからの進行は西川会長にお願いいたします。

会長

皆さんこんにちは。

第1期の計画が平成31年度で終了しますので、これの総括もしていかなければなりません。第2期計画が2020年から始まります。ニーズ量はもち

ろん計画の骨子を作るうえで重要なアンケートの項目を審議することが今日の議題ですので、皆さまのそれぞれのお立場からご意見をいただけたらと思います。

では、第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画策定にともなうアンケート調査について事務局から説明をお願いします。

事務局

《資料3-①、3-②、3-③により説明》

会長

ありがとうございます。

アンケートのポイントのご説明でしたが、もう少し特徴的なところをご説明していただきませんか。

委員

アンケートの前回の回収率と今回の回収率はどれだけ見込んでいるか。項目の構成としては何を意図しているかも合わせて教えてほしいです。

事務局

アンケートの回収率は、前回50%弱でした。前回1,000通で500通くらいの回答があったことになります。市民満足度のアンケート調査でも回収率は34%と低くなっているということから今回、発送数を多くして前回並みの票数は確保したいという思いから、対象数を1,000通から1,500通に増やしております。

アンケートの内容についてですが、就学前の調査票で申しますと、問1からまでは、回答者の属性等を聞く基本的な項目です。

問6の地域の子育て支援事業の利用状況については、前回の調査から新しく実施しているものがあるのでそれを選択肢の中に今回追加しています。(子育て応援アプリ ながまるキッズ! や子育て応援ナビ)

問10の放課後児童クラブに関して、前回調査では就学前では聞いていなかったが、今回は聞いています。

問12についての独自の項目では前回に対し大きく変えています。前は子育て支援に必要なことは何かという問いかけであったが、今回は目指す子どもの姿と親の思いについて、市が進めている「子育て憲章」に関連し設問を作っています。

教育・保育の量については前回同様にお聞きしていますが、更に今回は実際の状況に加え希望を聞きニーズ量を把握します。また、地区のニーズを把握したいということから、小学校区単位で聞いています。

委員

回収率が落ちている原因は何ですか。

事務局

原因は分かりませんが、他のアンケート調査の回収率も年々下がってきています。本調査は子育て世代に特化しているため、必ずしも回収率が落ちている傾向とは一致するとは限りませんが、もし回収率が下がった場合でも、一定数の票が確保できるようにとの思いで調査票は1, 500通にしています。

委員

調査票は見ただけでやる気がなくなる感じですが、もっとわかりやすく誰でも簡単に回答できる工夫をしていただけませんか。

会長

かなり凝縮されていますが、もっと工夫できるのではないかとありますが他にご意見はありますか。

委員

今はみなさんインターネットに慣れているので書くのは難しいのではないのでしょうか。

事務局

インターネットでの回答の手法としては大丈夫だと思いますが、対象者を絞ってくるのが難しいと思います。今回はスケジュール上難しいですが、次回以降は検討していきたいと思います。

委員

回答者に特典があるようにすれば回収率は上がるのではないのでしょうか。

会長

ご意見いろいろ出てきましたが、他にはどうですか。
お手伝いいただけるジャパン総研さんなら設計等慣れているので、工夫していただきたいところですね。

ジャパン総研

見やすさ、わかりやすさ等について再度検討させていただきます。

会長

他にありますか。

委員

表紙についてですが、前回のアンケートの結果から実現したことなど一言入れてはどうでしょうか。

会長

待機児童を極力減らし量の確保ができたことは事業計画の大きな目的ですので、アピールするのも良いかもしれませんね。

委員

問4-1の「週16時間」という基準は何ですか。

問4-2の将来的な就労希望をきいていますが、フルタイムかパートか詳しく聞く必要はないのでしょうか。

小学生の調査票 問2-4の年齢区分について「19歳以下」は違和感がありますし数も少ないと思います。

P7、問11-1 ⑫有期雇用でも要件満たす人はいるのでおかしいと思います。

事務局

就労が週16時間ということは月64時間ということになり、国が定めている保育所に預けられる時間のことになります。

将来的な就労希望については、このまま希望のみを聞くことにします。

年齢区分については、「20歳代まで」と変更させていただきます。

問11-1については、単純に「育児休業の取得要件を満たさなかった」という表記に修正させていただきます。

委員

P3就労状況について、土日の就労状況は聞かないのですか。

問3相談先について「ない」と答えた場合、理由を聞いたほうが良いと思うのですが。

事務局

P7で土日の利用希望を聞いているが、どうするか検討したいと思います。相談先については「ない」のあとにかっこをつけて理由を書きいただくようにします。

委員

小学校用調査票について 問10「親の意識を聞く」ことについてですが、該当するものすべてに○をするとなると、全部に○をつけてしまうと思うので、数を3つなどと限定した方が良いと思います。

事務局

事務局としても悩んだところですのでご意見をいただきたいと思います。

「子ども憲章」の内容を問いに入れていることから、アンケートを通して保護者に意識してほしいところでもあります。

会長

最後まで回答してもらい、少し考えてもらうためにも3つまでなど、縛りをつけるのも良いかもしれません。

委員

設問の順は決まっているのですか。

事務局

決まっていますので入れ替えも検討していきたいと思います。

委員

小学生の調査票 問10は「重視すること」ではなく、「していたこと」ですね。

会長

就学前の子育てで大事にしていたことを問う設問は、非常に重要だと思います。専門的なことになりますが、就学前に認知能力といわれる「読み・書き・計算」に執着される方がおられるが、子どもがこれに向かっていく力を育てられない現状があるならば、そこを行政として支えていくことが大事だと思います。思っていることとやっていることの齟齬が描きだせたら、今後の事業計画が充実していくのではないかと思います。

情報を整理しながら発信していくいくつかのチャンネルが行政にあるかということだと思います。ぜひ、就学前でどう思っていたかを聞いてほしいと思いますね。

委員

全体的に選択肢が多すぎる気がします。

会長

調査の精度を上げようとする選択肢は多くなるし、選択肢を絞って精度が低くなるのもどうかと思います。ジャパン総研さんにかかっていますね。

委員

矢印や字の大きさも大きい字や小さい字があり難しいことが書いているイメージがあります。項目を少なくするなど見せ方を工夫していただきたいです。

委員

表紙に抽象的なことではなく、具体的なことを書くことで、回答すると長浜市の子育て支援がこんなに良くなりますと期待を持っていただくことで、回収率を上げるのはどうでしょう。

会長

いろいろご意見をいただきましたが、アンケートが11月末発送ですので、再度会議は難しいですね。会長、副会長一任で検討することでもいいですか。

《異議なし》

委員

もう一つ質問いいですか。ベビーシッターという項目は小学生の調査でも聞くのですか。

会長

ベビーシッターは協会認定なので、解釈もいろいろあり、小学生のベビーシッターもあります。

委員

就学前調査票について 問5-6「利用する必要がない」ではなく「利用していない」など表記の仕方を考えていただきたいです。

事務局

分かりました。再度全体の設問等について精査させていただきます。

会長

では先ほど会長、副会長一任ということになりましたが、委員の皆さまも帰られてからもお気づきの点等ありましたら事務局までお願いします。

では次、報告事項ということで「ながまるフェスタ」について事務局から説明をお願いします。

事務局

《説明》

会長

では、事務局にお返しします。

事務局

ありがとうございました。

資料の作成や、見える化の部分、評価の部分など事務局で整理し今後より良いものにしていきます。

委員の皆さまには今後ともそれぞれのお立場からのご意見等をいただきたいと思います。

本日は長時間にわたりありがとうございました。

(閉会)